

競技注意事項

1. 規則について

本大会は、第 91 回東京箱根間往復大学駅伝競走開催要項、同競技実施要項ならびに同駅伝競走に関する内規に基づき実施する。その他で問題が生じた場合は 2014 年度日本陸上競技連盟競技規則・同駅伝競走規準に準じて解決する。

2. 競技者変更について

- (1) メンバー変更は、往路は大手町読売新聞社 5F ホールにて、復路は 6 区スタート地点付近にて競技開始 1 時間 10 分前に受け付ける。
- (2) 変更は正選手と補欠選手との入れ替えのみとし、区間変更は認めない。
- (3) 正選手と補欠選手の交替は往路・復路を通じて 4 名以内とする。

3. 競技方法について

- (1) 往路スタートの並び順は、第 90 回大会および、第 91 回大会予選会の成績順に、2 列でスタートライン中央から両端に向かって並ぶ。
- (2) 競技者が競技中ケガ、疾病等によって走行困難となり歩行、立ち止まり、横臥等の行動に移った場合、本人がなお競技続行の意思を持っていても、運営管理車に乗務する競技運営委員、走路管理員、監督またはコーチの三者合意により競技を中止させる。
- (3) 競技者が走行困難となり、競技を中止し、途中棄権となった場合、その区間の前区間までの記録は公式に認められる。なお、次区間から最終校通過後に中継所審判員主任の指示により、再スタートすることができるが、その記録は参考記録とする。
- (4) 各区間とも 1 人の競技者で走行し、伴走は認めない。
- (5) 各競技者の出場は、往路、復路を通じて 1 区間に限る。
- (6) 各競技者は原則として車道の左側を走る。
- (7) 競技者は別に定める「給水」を除いて競技中に他人の手助けを受けてはならない。ただし、本大会競技役員、運営管理車に乗務する監督・コーチが状態を確認したり、安全を確保するために一時的に競技者の身体に触れても手助けとはみなさない。
- (8) 競技者が飲食物を携帯することはできない。
- (9) 鉄道踏切における遮断閉鎖は不可抗力ではあるが、その間のロスタイムは競技者の所要時間に含めない。ロスタイムの計時は審判員が行う。
- (10) たすきは必ず肩から斜め脇下に掛けて走ること。
- (11) 往路、復路の中継所で、先頭走者から 20 分を超えて遅れたチームは、各中継所審判員主任の裁定で、前走者が到着しなくても次の走者を出発させる。ただし、往路の鶴見、戸塚中継所のみ 10 分とする。同時出発が複数校ある場合の並び順は、進行方向左側から前中継所の通過順とする。
- (12) 復路のスタートは往路の成績が 1 位から 10 分以内の大学は時差出発を行い、その他の大学は 1 位校のスタートから 10 分後に同時出発する。同時出発が複数校ある場合の並び順は、進行方向左側から往路の成績順とする。

4. 中継点について

- (1) 中継所におけるたすきの受け渡しは、車道以外の区域または車道左端で行う。
- (2) たすきの受け渡しは、前走者が完全に所定の中継線に到達してから中継線の進行方向 20m 以内で次走者に渡さなくてはならない。
- (3) 中継線の前後 50m 以内は、競技役員、競技者以外、一切の立入を禁止する。このゾーン内への付添人の立入については、各中継所審判員主任の指示に従うこと。

5. 服装・ナンバーカード・たすきについて

- (1) 各チーム統一のランニング用シャツ（大学名・マークは統一とするが、袖の長さは競技者によって異なっても良い）、ランニング用パンツを着用し、胸と背部に大会本部指定のナンバーカードを取り付けること。
- (2) 各チームとも、事前に本連盟に提出した各チーム独自のたすき 2 本のうち、1 本をスタートからフィニッシュまで中継する。残りの 1 本は主催者側で保管する。
- (3) 繰り上げ出発のチームは、大会本部で用意する黄色と白色のストライプのたすきを使用する。ただし、5 区、10 区は各校独自のたすきを使用する。なお、途中棄権したチームも、大会本部で用意する黄色と白色のストライプのたすきを使用し、10 区のみ各校独自のたすきを使用する。

6. 招集について

招集は、スタート地点および各中継所にて以下の通りとする。

1月2日・往路	第1区 21.3km	第2区 23.1km	第3区 21.4km	第4区 18.5km	第5区 23.2km
招集開始時刻	7:40	8:40	9:50	10:50	11:50
先頭通過予定時刻	8:00	9:04	10:13	11:17	12:12
1月3日・復路	第6区 20.8km	第7区 21.3km	第8区 21.4km	第9区 23.1km	第10区 23.0km
招集開始時刻	7:40	8:40	9:40	10:45	11:55
先頭通過予定時刻	8:00	8:58	10:05	11:10	12:20

7. 距離標示について

距離標示は、各区間とも 1km、3km、5km、10km、15km、あと 1km に示す。ただし、2区、5区、9区、10区については、20km も示す。

8. ドーピング検査について

- (1) ドーピング検査を指名された競技者は、役員の手配に従ってドーピングコントロールステーションにおいてテストを受けること。
- (2) ドーピング違反があった場合は、各区間記録を含め当該競技者所属大学の全記録を記録なしとする。

9. その他

- (1) 大会本部は、大手町読売新聞社 5F 本部記録センターに設置する。
- (2) 競技中、身体の故障により競技を続けることが困難となった場合は、最寄りの競技役員に申し出て指示を受けること。なお、医師は緊急対応車①、医務車ならびに各中継所、大手町・芦ノ湖フィニッシュ付近に待機する。
- (3) 本大会競技中の不慮の事故等については主催者側で応急処置は行うが、その後の処置は各自（各校）で行うものとする。なお、事故の結果等について本連盟は責任を一切負わない。
- (4) 荒天や道路状況等により、本駅伝競走を中止または中断と判断する場合は、本連盟会長・副会長・審判長・駅伝対策委員長・幹事長および幹事会で協議し会長が決定する。決定後は、幹事長が関係各所に連絡し、本連盟 HP にその旨を掲載する。
- (5) 自動車、自動二輪車、自転車等の車輛による応援は一切禁止する。スタート地点、フィニッシュ地点、中継所の前後 100m以内での校旗、部旗、その他、大学を標示する横幕、旗等の掲出は一切禁止する（応援については、応援実施要項に基づいて行うこと。万が一、これに違反した場合、同校に相応の罰則が与えられることがある）。